

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Viva Kango

Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing



RCHOKKAIDO



学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字北海道看護大学

編集・発行／広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1

TEL 0157 (66) 3311 FAX : 0157 (61) 3125

HP : <https://www.rchokkaido-cn.ac.jp/>

令和6年度 入学式が挙行されました

2 024年の年明け以降の厳しかった寒さも落ち着き春の訪れを感じるようになった4月5日、澄み渡ったオホーツクブルーの青空の下、令和6年度入学式が挙行されました。新入生の皆様、本学へのご入学誠にありがとうございます。

本年度は看護学部看護学科68名、看護学研究科看護学専攻修士課程9名、看護学研究科共同看護学専攻博士課程2名がご入学されました。式典ではまず安酸学長から本学の教育理念である人道（ヒューマニティ）について「本学で構築されている赤十字を学ぶ講義・演習で赤十字の魅力を感じるとともに、赤十字の病院との連携によって実践力をしっかりと身につけて欲しい」と伝えられました。さらに今年2月に北見観光大使に就任したことも踏まえて「ここ北見市には大いなる魅力、四季の素晴らしさがある。北見を満喫しながら健康に留意して学業を進めてほしい」という言葉が伝えられました。

日本赤十字学園の富田理事長は今年の元日に能登を襲った令和6年能登半島地震に触れられ、「日本赤十



字社は人の命と健康そして尊厳をまもる活動を進めている。日本赤十字社の母体となる博愛社の設立から147年。看護に携わるために必要な技術をしっかりと学んでほしい」と新入生にエールが送られました。



「誓いのことば」を述べる新入生代表。

COVID-19が感染法上5類に移行してから初めての入学式となりました。以前の入学式にはほ戻すことができませんでした。クラブ活動やボランティア活動など感染症対策で休止となっていたものも、まだ完全復活とまではいきませんが多くの活動が元に戻っています。今年度の大学祭については自治会が中心となつて企画が進められております。大学生活で作られる貴重な時間を十分に生かして、多くの経験、体験そして友達との交流が育まれるとともに、赤十字だからこそ学べる看護の素晴らしさを様々な場面で感じ取り、皆様の素晴らしい将来の道が拓かれることを教職員一同願っております。



RCH Viva Kango

新入生の皆さん、 ご入学おめでとうございます

今年は新入生の人数が大学創設以来で最も少ない68名でした。オホーツク圏から34名、うち北見市内が30名、道外は2名、宮城県と山梨県からでした。

私は昨年、大阪から異動したので、北見はまだ2年目ですが、自然が美しく空気がきれいで、人もとてもやさしいことに感激し、2月に自薦で、きたみ観光大使に就任しました。冬は道路が雪と氷に覆われ、高齢者には転倒の危険があるので、控えますが、春夏秋冬は毎朝40分ほどの散歩を楽しんでいます。夏までの短い春に一気に桜、つつじ、チューリップ、芝さくら、紫陽花、コスモスと次々に咲いていきます。本州の3月から10月くらいまでに咲く花が5月から8月くらいまでの間に咲いていく感じですね。寒暖差が激しく、1日で20度も変わって面食らったこともありま

した。道内の学生には当たり前のことでしょが、北見の自然の厳しさとも美しさは本当に希少で貴重だと思っています。道外から来られた方はもちろんのこと、道内からの学生も学業や部活やサークル活動だけでなく、ぜひ北見の自然を再発見して満喫してください。ことを期待しています。



「北見厳寒の焼き肉まつり」にて執り行われた、きたみ観光大使任命式。

さて、本学の教育理念は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図ることにあります。その為に必要な学術、道徳を学び、国内外で活躍できる実践力をもった看護専門職の育成及び看護学の発展に寄与することです。私は看護師に最も必要なものは、人道つ

まりHumanityだと考えています。看護師は自分の一挙手一投足に気を配り、患者さんに愛を注ごうと意図しなければなりません。そのためにはまず自分を大切に、尊重すること、相手を尊重し心から気遣えるようになります。ヒューマン・ケアは、人と人との間においてのみ磨かれます。相手に映る自分の人間性を省みることによって、人間的であるとはどのようなことであるかを会得できるようになるのです。

本学は「ここでしか学べない看護がある」を標語として、きめ細やかな指導体制で丁寧な教育を志しています。ぜひ先生方に食らいついて、学び取っていただきたいと願っています。今年は入学人数が少なかったために、例年にも増して丁寧な指導が受けられると思います。今年の卒業生の国家試験合格率は100%でした。先輩たちが頑張ってくれました。この伝統をつなげていきたいと思っています。看護大学生として、のびやかに学び、かけがえない人たちと出会い、多くの経験をすることで、新しい自分と出会い、その中でしなやかに成長されていくことを、心から期待をしています。一緒に看護学を学ぶ旅に船出いたしましょう。

記事をもっと+

安酸学長(北見観光大使)のInstagramもぜひご覧ください。北見の魅力をたくさん紹介しています。



Award

学年表彰

本学では、前年度に優秀な成績を収めた学生に対して学年表彰を行っています。今年は4月8日に表彰式が執り行われ、学長よりそれぞれ表彰状が手渡されました。

RCH Viva Kango

2年次



渡部 暁希恵さん
藤原 湖遥さん
瘡師 琉渚さん
西原 梨奈さん

3年次



原 真朝さん
相馬 由菜さん
木村 悠月さん
森内 彩花さん

4年次



梅澤 彩乃さん
岩橋 美咲さん
松原 史歩さん
小野 丹楠さん

【写真の並び順(左から)に掲載】

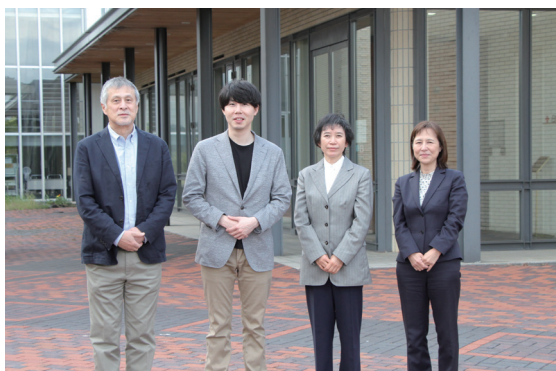
1 年次

担任のご挨拶

新

入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学をして早2か月近く経ちました。大学生活にも少しずつ慣れてきたでしょうか。友だちはたくさんできたでしょうか。

私たち4名（写真左から矢萩、弥富、伊東、浅野）で皆さんの最初の2年間、担任を務めて参ります。学生生活で、勉強についていけない、休学や退学を考えている、卒業後の進路について悩んでいる、急遽新たな奨学金が必要になったなど、何か困ったことが生じた場合、遠慮なく担任のところに相談にきてください。担任ごとに担当学生が決まっていますが、担任が仕事などで相談に対応できない場合、他の担任の



ところへ行ってください。

4年間という時間を使って、勉強だけではなく、サークルやボランティア、あるいはアルバイトや旅など、色々な活動や体験を通して人間形成にも励んでください。

卒業時に皆さんが目指す看護師となるための土台ができていることを担任一同心より祈っております。

RCH Viva Kango

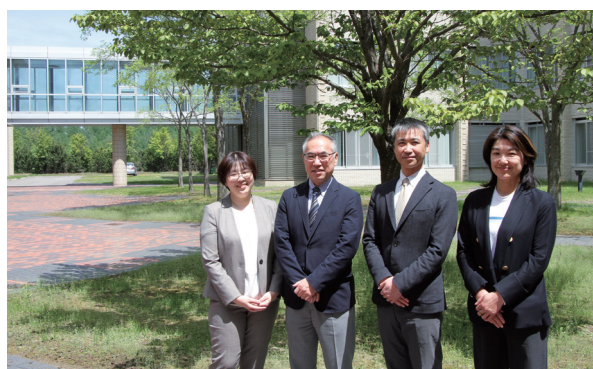
2 年次

担任のご挨拶

大

学に入學し、早いもので1年が過ぎました。「コロナ禍で、クラブ活動や大学祭など、イベントの中止がありました。徐々以前の生活に回復してきています。2年生になり、後輩も出来ました。また、専門科目の講義が増えて大変だと思

います。1年後には病院実習が始まります。本当に忙しい毎日を送っていると思います。自分自身の心身のバランスが取れていることがとても重要となります。食事、睡眠をしっかりとして体調を整えることを大事にしてください。困ったことや悩んでいることがあれば、いつでも担任などへ相談に来て下さい。記録物やレポートなどの提出に追われていると思います。しかし、全ては自身自身を成長させてくれます。「どうせやるなら上機嫌」の気持ちで取り組んでください。憧れの看護師・保健師・助産師になれるよう日々の努力を積み重ね、残り3年間の大学生活



を悔いの無いように過ごして下さい。2学年担任一同、皆様のことを見守っていきたいと思います。

RCH Viva Kango

3 年次

担任のご挨拶

3

年生の皆さまこんにちは。根本昌宏、蓮井貴子、藤谷未来、尾栢みどりの四名で卒業までの2年間を担当させていただきます。どうぞよろしく願います。3年生からはいよいよ領域別実習が始まります。すでに皆さんには基礎看護学実習での学びと経験があります。自分の良いところを伸ばし、変えた方が良いところを改善して、自分の目標に近づいていってください。1年間続く領域別実習は自分自身で乗り越えなければならないことが数多

くあります。記録は後回しせず、早め早めに進めることが大切です。近年の看護師・保健師国家試験の内容は、現場の感覚を必要とするものが増えていますので、「実習のためだけ」とは思わず、国家試験のためにも生きるものとして学びを深めてください。この先最も大切なことは、自分の体調を整えることです。自分で克服していくことにぶつかった際には、早めに担任までご相談ください。皆さんが元気に健やかに学業を進められるようサポートさせていただきます。

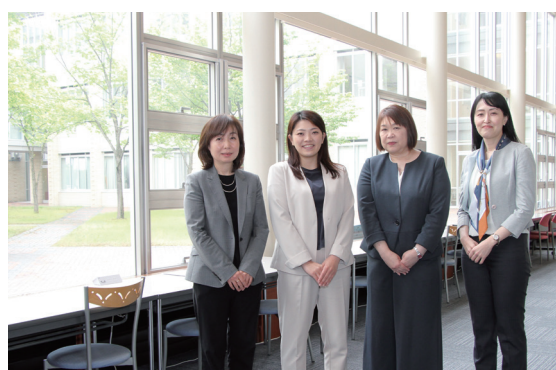


RCH Viva Kango

4 年次

担任のご挨拶

んには。令和6年度の4年生主担任を務める大倉美鶴です。学生の皆さんと共に過ごす時間が残り1年となったことがとても感



慨深いです。

この4年間、皆さんは看護学の知識と技術を習得し、様々な実習を通じて多くの経験を積んできました。学生それぞれの成長を目の当たりにし、大変嬉しく、誇りに思います。

最終学年となる今年は、専門的な知識と技術を深めるだけでなく、看護師としての自覚をさらに高める重要な時期です。この期間を通じて、これまで学んだことを実践に活かし、自信を持って患者さんに接するための準備をしっかりと整えて欲しいと思います。また、卒業研究や国家試験の準備など、多くの課題がありますが、皆さんなら乗り越えられると信じています。担任一同も全力でサポートいたしますので、何かあれば遠慮なく相談してください。これからの1年が皆さんにとって充実した素晴らしい時間となりますように。

新入生 個人発表

入 学式からちょうど一週間が経った4月8日、新入生恒例の個人発表会を行いました。個人発表会では、出身地、出身校、趣味や特技とともに、「4年後の自分へ」と題した目標と取り組みについて発表しました。

発表する新入生は緊張しながらも自分の出身地や出身校、趣味や特技を発表し、聞いている新入生は興味津々といった様子で聴いていました。また4年後の自分へのメッセージとして、どんな看護師になりたいかなど、自分の思いや理想の看護師像を述べていました。

目標では、学生それぞれ自由に将来の展望について発表してくれました。「国家試験に合格する」と堅実



に考える学生や、「フライトナースになりたい」とすでに将来のビジョンを持っている学生、そして「患者さんに寄り添う優しい看護師になりたい」と心優しい学生、「保健師や助産師になりたい」と目標をしっかりと定めている学生など、それぞれの個性が垣間見えた瞬間でした。



この個人発表会は、新入生同士が自身のバックグラウンドや将来の展望を共有し、お互いの理解を深め、仲間づくりの良い機会となりました。また、新入生の皆さんは、自らの思いを率直に表現し、これからの大学生活についての目標に向けて意識を高める重要な場となりました。

発表会で掲げた目標を達成すべく、仲間と助け合いながら充実した学校生活を送られることを願います。担任を始め教職員一同、学生たちの成長と学びを支援していきます。

令和6年度 ふらつとカフェ

令 和6年5月16日(木)の昼休みに本学食堂前の学生ホールにて、ふらつとカフェを開催しました。昨年の12月以来の開催となりましたが、特に1年生の皆様には早く大学になじんでいただこうと、今年度は時期を早めての開催となりました。今回も安酸学長をはじめ多くの

学生、教職員が立ち寄って、リラックスした気分で普段とは一味違う会話を楽しみました。カフェの合間には今年度発足したハンドベル部による「世界に一つだけの花」の演奏、自治会会長からの大学祭や赤十字6大学交流会の紹介や北見工業大学と共同で活動する吹奏楽部による部活紹介もあり、会を盛り上げていただきました。次年度も多くの学生の皆様のご参加をお待ちしております。



学長と楽しい会話が盛り上がる学生たち。



多くの教員も集まりました。



緊張しながらも素晴らしい演奏してくれたハンドベル部のみなさん。演奏終了後には大きな拍手も。

記事をもっと+

ハンドベル部の演奏は、YouTubeで視聴できます。今後もイベントなどで演奏を聴けるのが楽しみ！



令和5年度―6年度 教員の退任・着任

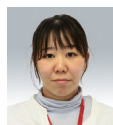
退任教員



精神看護学領域
石崎 智子 特任教授



地域・在宅看護学領域
正原 美穂 助教



成人看護学領域
小田原 舞 助手

新任教員



基礎看護学領域
定廣 和香子 教授



精神看護学領域
増満 誠 教授



成人看護学領域
高儀 郁美 准教授



成人看護学領域
大坂 真矢 助手